

NIFAだより

NIFA
第64号

Niiza International Friendship Association

新座市国際交流協会

2021年3月

令和元・2年度の活動を振り返って

会長あいさつ

この2年は新型コロナウイルス感染症の影響により激動の年となりました。自分自身と周りの人々との関わり方を考えさせられる年でもあったと思います。皆さまの生活も一変したのではないのでしょうか。そんな中でも、一步一步着実に歩みを進め、長期的に広い視野で物事を判断する必要があると感じています。

さて、新座市は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のブラジル共和国のホストタウンとなっています。

NIFAとしまして、どのような支援ができるか考えなくてはなりません。来るべくその日に向けて、会員の皆さまのお知恵もお借りしながら、市と協力して選手団をお迎えしたいと思っております。ご協力よろしくお願いたします。

森田 輝雄



新座快適みらい牡丹祭り



バス視察旅行(群馬県)



料理講座(ブラジル)



ブラジルのクリスマス

副会長あいさつ

2年間を振り返ると、TOKYO2020の開催に向けて準備をしていた年でした。オリンピックは延期になりましたが、ブラジルのホストタウンという大きな役割を担っている新座市、当会も「ブラジルを知ろう」「ブラジル料理講座」というイベントを企画・運営してきました。地球上で一番遠い国ですが、心が一番応援したい身近な国になってきています。

コロナ禍で大変ですが、今後も楽しい活動を皆さまと一緒にしていきたいと思っています。

櫻 博子

任命頂いてから早2年が過ぎようとしております。

令和元年度は、様々な活動を行い、無事に20周年記念を迎える事ができました。

令和2年度はコロナ禍の中、ほとんど活動が出来ずにいましたが、今までの当たり前の生活の有難さを強く感じる事ができました。外国人の多くは、母国の家族を心配したり日本人以上に不安を感じているかと思います。NIFAの役割として、相互扶助の精神をもって今後の活動も進めていければと願っております。

山腰 拓実

令和元・2年度の事業

日付	活動内容
令和元年 5月5日(日)	第2回新座快適みらい牡丹祭りに出店
7月20日(土)	第5回大江戸新座祭りに出店
10月20日(日)	バス視察旅行(群馬県甘楽郡)
10月20日(土)	ブラジルの文化を知ろう
11月10日(日)	国際交流デー及び20周年記念事業「お楽しみ抽選会」開催
11月17日(日)	料理講座(ブラジル料理)
12月8日(日)	新座市はブラジルのホストタウン NIFAブラジルのクリスマス
令和2年 2月16日(日)	料理講座(ブラジル料理)
2月29日(土)	地域デビューセミナー2020 展示参加(※中止)
3月15日(日)	四季を楽しむ交流事業「春を楽しむ」(※中止)
10月11日(土)	バス視察旅行(※中止)
11月8日(日)	国際交流デー(※中止)
令和3年 1月31日(日)	四季を楽しむ交流事業「春を楽しむ」(※延期)
2月7日(日)	NIFA会員向け懇談会 国際交流について語ろう(※延期)

(※中止/延期) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて検討した結果、事業を中止・延期しました。

ふれあいアラカルト

中国のおまつり～元宵節～ (日本語：元宵節 げんしょうせつ)



↓元宵節の風景



げんしょうせつ

元宵節は中国の旧暦1月15日を指します。日本の小正月にあたり、春節(旧正月)期間の終わりを象徴する大事なおまつりでもあります。その日になると、人々は一家団らの意味が込められている「汤圆」(日本語：湯圓 発音：タンユエン)というもち米を原料とした団子(胡麻餡)を食べる風習があります。夜になると街に赤提灯が飾られ、上海など中国の南部では、小さな子ども達はウサギの形をしている提灯を引っ張って遊ぶことが風物詩です。



↑ウサギ形提灯
←湯圓(胡麻餡)

NIFA会員 仇暁芸氏



レバノンのおまつり ～預言者ムハンマドの生誕祭～

レバノンはモザイク国家と呼ばれ、人口450万人の小さな国に20近い宗教・宗派が共存しています。その宗教・宗派全てを公正に期すレバノンでは、各宗教・宗派独自の暦、祝・祭日全てが、レバノン国民の祝日になっています。

今回は日本ではあまり知られていない、預言者ムハンマドの生誕祭についてご紹介します。祝日はイスラム暦(ヒジュラ暦)で、スンニ派は3月12日、シーア派は17日をお祝いするといわれていますが、レバノンの多くの地域では、この両日の間6日間を通してお祝いします。この期間中は、街を歩き交う人々が可愛いくラッピングされたお祝いメッセージ付きのチョコレートを渡し合うなど、互いに預言者を迎える喜びを分かち合います。海岸沿いでは、毎年フェスティバルが開催され、大きなシャワルマ(ケバブに似ている薄いパンに、お肉と野菜を挟んだサンドイッチ)が焼かれ、無料で振る舞われます。

フェスティバルでは、伝統衣装に身を包んだ子どもたちが太鼓をたたきパレードとメッカから来たといわれるタペストリーを掲げて行進し、ご利益を願う人々は、そのパレードに参加し列をなします。

クリスマス、お正月同様、イスラム教徒の人々は家族、友人と共にこの日を盛大に祝います。どの宗派であってもその祝日を祝うというのは、長い内戦から学んだ国民の姿があるのではと思います。

NIFA会員 小野範子氏

パレードの様子↓



メッカから来たといわれるタペストリー↓



↑メッセージ付きお菓子

←シャワルマ

編集後記

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で様々な行事が中止となりました。通常NIFAだよりでは国際交流協会の活動を掲載しております。しかし、今年度は委員の皆さんと紙面構成について意見交換をし、試行錯誤しながらの編集作業となりました。

令和3年度はコロナウイルスが収束し、活動が再開できることを願っています。

鈴木 明子

新規入会・会員更新のお願い

会員の皆様には、会員登録の更新をお願いします。令和2年度の会費を郵便局(同封の振込用紙にて振込)又は事務局窓口でお納めください。

なお、新規会員も随時募集しています。お気軽に事務局までお問い合わせください。

会員区分	会費
個人	1,000円
団体	5,000円
法人	10,000円